

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679500126
法人名	株式会社 徳洲会
事業所名	グループホーム 岬
所在地	鹿児島県大島郡知名町田皆2242番地 (電話) 0997-93-1502
自己評価作成日	平成29年2月13日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年3月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

県道から少し中に入り、静かな住宅外の中にホームはあります。一歩外に出ると地域の方や子供達と声を掛け合うことができる環境にホームはあります。その環境を活かして地域に溶け込んで暮らす事を目的に開設当初から近くのゴミステーションの掃除を利用者と職員の日課として取り組んでいます。今では、地域の方々や子供達とも顔見知りになり、気軽にホームに立ち寄る関係が構築できています。岬の自慢は安全な散歩コースがあることです。散歩コースには四季折々の花々が咲き乱れていて、季節を感じる事ができます。県道脇にあるバス停の花壇広場には地域の方が集まる場所となっているので声を掛け合い話を楽しむ事もできます。ホームの近くには公民館・郵便局・ふれあい館・雑貨店・駐在所等々・・・字の中核機能が集まっている便利な環境にホームはあり恵まれています。私たち職員は統一したケアを目標に掲げ、申し送りは利用者も交えてお茶を飲みながら、気軽に話せる統一したケアの為の時間を設けています。利用者が日々同じケアが受けられ不安なく穏やかな暮らしができる事を目的に統一したを重視し事業所として特に力を入れて取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム岬は閑静な住宅街のなかにあり、散歩道には四季折々の花が咲き、近隣に小学校や中学校もあるため、子ども達や地域住民と声を掛け合う環境にある。県道や郵便局も近く利便性にも恵まれている。
地域で親しまれたクリニックあとのホームのため、利用者も地域の方が殆どであり、知人友人などの訪問者も多く、利用者も参加しての清掃活動も開設当初から続いているため地域からの信望も厚い。
管理者は利用者が地域のなかで「その人らしく」暮らせることを大切に、地域住民に介護についての勉強会をしたり、他のグループホーム間の交流会を開催するなど利用者や職員と共に歩む積極的な姿勢がうかがわれる。
ホームの面会時間も決まりが無く家族がいつでも訪れ易い体制であり、重度化による看取りも経験を積み、医師、職員と共に情報を共有し連携を図っている
職員も介護歴の長い経験者が多く、管理者と常にサービスのケアの統一を図り「自分の両親に会っている思いがする」との声も聞かれる。
地域住民との関わりを大切に、温もりのある支援を目指すグループホーム岬は、家族から「安心と安全が守られ家族のようである」と喜びの声がアンケートのなかにも記されるなど、地域密着型サービスを提供するグループホームである

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り揭示し、朝礼後に唱和することにより、理念に触れ職員間で共有し、日々実践に繋げる様に取り組んでいます。	事業者が目指すサービスのあり方は何かを理念の中にうたい「その人らしさを大切に」という内容が組み込まれている。朝の申し送り時はお茶を飲みながら利用者と同一テーブルを囲み全員で共有し唱和している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者と職員で近くのゴミステーションの掃除を日課とし天気の良い日には散歩に出掛け事業所側から声掛けし日常的交流がもてる様に取り組んでいます。	管理者は老人会などで町内のグループホームの紹介をしたり、在宅介護の寸劇で理解してもらう機会を作ったり、ゴミステーションの清掃も地域の一員として参加し長年続いている。子ども達や地域住民が気軽に立ち寄り、社会人になったらここで働きたいという子もいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の会合に参加したり町の依頼を受けて在宅家族介護者をホームで行ったり地域の方々に学ぶ機会も提供しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回運営推進会議を持ち事業所報告や参加者からの意見、要望や助言を聞きサービスの向上に活かしています。	運営推進会議は利用者や家族をはじめとする多種多様な関係者の参加者を得て開催され、議題も困らず、出された意見や取り組みも議事録に記されサービスに活かしている。食事の風景を見てもらうこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町の担当職員に事業所報告を行い協力体制が出来きる様に取り組んでいます。行政からの情報や助言はサービスの質の向上に繋げる様に努めています。	市町村の担当者と密に連携をとり地域包括センター主催で研修会をしたり、大島地区のグループホームの管理者同士の交流を持つなど、事業所の取り組みを伝えながら協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会に参加し伝達研修を実施し、事業所独自の勉強会を持ち理解を浸透させて、身体拘束はしない様に取り組んでいます。見守りで安全な生活を送れる様に努めています。	身体拘束をしないための勉強会を2.3ヶ月に一回開催し、具体的な行為を全ての職員が理解している。以前は外に出たがる利用者もおり、声掛けや、ドライブと一緒に出かけていたが、今は管理者や職員の姿を見て落ち着き、室内を何往復かし本人の安心が得られている。鍵はかけず見守りで安全な生活が送れる支援となっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、虐待をしない又見逃さない様に注意を払っています。一人で対応するには難しい方は二人で対応し虐待に繋がらない様に常に考えて対応しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護・成年後見制度に関する研修に参加して学んでいます。必要と思われる利用者がいたら活用できる様に支援して行きたいと思っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約を結ぶ際は、利用者や家族方の不安や疑問点は無いのか問い十分説明を行い理解・納得をして貰い契約を結んでいます。利用料・重度化・医療連携・ケアに対する事業所の取り組みについても説明しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の思いや要望に耳を傾け対応しています。利用者と家族の立場になって考え不満や要望は話しやすい雰囲気を作り、また外部者へ表せれる様に第三者委員を設け、運営に反映させています。</p>	<p>家族が話しやすい雰囲気づくりに努め、面会時など話を聞いている。意見や要望、不満を表す第三者委員会も設け、スムーズに意見交換もできている。家族の思いは全て受入れる体制であり、それらを運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>気軽に話せる時間を設け、職員の意見や提案を聞き、また職員が声を出しやすい様に努めています。</p>	<p>職員は長年の勤務者が多く運営に関する意見を皆で聞く時間を設け月に一回は個別面談もしている。職員間のコミュニケーションも良く職場に来て「家族や利用者の世話が出来るだけでも幸せ」と言う職員の声もあった。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>働きやすい環境を考えています。要望を聞き、また必要物品を購入したり大変さを感じない様に介護業務が出来る様に利用者の体調状況に合わせ業務の見直しをたり勤務作成も希望を聞き取り入れています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人は働く中で学ぶ事の必要性を理解されており、業務に支障きたさない限り研修の機会を与えています。島内で開催される必要な研修には、全職員が受講が出来る様に勤務調整し対応しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>島内・島外の同系業者との交流もあり事例を通して経験上の助言を貰い参考にし、また島内のグループホームの交換研修の場もありサービスの質の向上に繋げる様に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談を行い、心身の状態や生活状況を把握し職員間で共通理解して、受け入れる様にしています。不安や要望を聞き安心して利用できる様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始する段階で家族の困っている事、不安な事、求めている事等々…傾聴し信頼関係が構築出来る様に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族にとって必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含め考え、本人にとってより良いに繋がる様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、寄り添い喜怒哀楽を共にし傾聴に努め支えあう関係を築き穏やかに過ごして貰え取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	これまでの本人と家族との関係を理解し、家族関係が一番だと考え、親子のより良い関係が築いていけるように取り組んでいます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	本人が、これまで大切にしてきた馴染みの関係や場所と繋がりが断ち切れないように取り組んでいます。馴染みの人と会う事が出来る様に・何時も見ていた懐かしい風景が観られる様に外出し支援をしています。	当グループホームは地域に親しまれたクリニック跡だったこともあり、知人や友人が訪ねやすく自宅や墓も近いのでこれまでの関係の継続ができています。管理者は役場にも利用者を連れて行き、美容室や買物に同行したり本人が付き合いを続けられるような支援となっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、ひとり一人が孤立せずに利用者同士が仲良く過ごせる様に職員が調整役となって支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス（利用契約）が終了しても継続的な関わりを持ち家族との関係を断ち切らない様に努めています。終了しても殆どの家族がホームに顔を出してくれています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、利用者の思いや意向を察把握し職員間で共有し、本人の思いが叶えられる様に本人本位の個別ケアに努めています。	殆どの利用者は思いや意向の口頭表現が可能であり、困難な利用者は筆談や表情、所作で把握している。本人がどこで、どのように暮らしたいか、何をしたいかに、職員は関心をはらい利用者の視点にたって、話し合い検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ひとり一人の思いや希望、意向の把握に努め言葉や表情から真意を察する様に努めています。これまでの暮らしの延長線がホームの暮らしであると考える本人本位を支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者が楽しく一日を過ごせる様に心身の状態を把握し、その個々の力に合わせて有する力を発揮して貰いメリハリある生活が送れる様に取り組んでいます。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人が、快適に楽しく生活できる様に課題分析し抽出された生活全般の課題を本人・家族・職員で話し合い、その人らしく生活できる様に、参加者の方の意見を反映し計画書を作成しています。現状を把握して計画書の見直しにも活かしています。	チームでつくる介護計画は、利用者や家族、本人を知る関係者で、気づきや、課題を話し合い作成されている。職員は客観的な評価と確認を繰り返し、家族の希望や要望にも順応した見直しもされ、個別の具体的な支援を盛り込んだ介護計画である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し身体状況及び日々の暮らしを記録しています。身体状況の把握が出来る様に見やすい様に工夫もしています。日々の記録は計画書の見直しにも活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の時々の状況や要望に応じて柔軟な対応をしています。常に本人と家族の立場に立ち考え、出来る限りの要望を聞き支援を心掛けています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して住み慣れた地域の中で繋がりを持ち暮らしに行ける様に老人会へ参加したり、歌や踊りのボランティアをお願いしたり豊かな暮らしが出来る様に取り組んでいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同系列病院への受診と決めつけずに、本人や家族の希望を第一に考え適切な医療が受けれる様に支援しています。	これまでのかかりつけ医の同行受診と母体の月1回の訪問受診や専門医も適切な診察を受けられる体制である、特に口腔ケアには力を入れ「清潔な歯」は健康と対人関係を促す管理者の思いもあり、訪問診療をお願いしている。診察結果は連絡ノートで家族に報告され適切な受診支援となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問診療の契約に基づき、日常の健康管理や医療面での相談・助言を気軽貰えています。同系列なので適切な受診や助言を貰い支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>安心して入院が出来る様に面会を心掛け又入院によるダメージを極力防ぐために医師と相談しホームで対応可能な段階で早期退院が出来る様に家族とも情報交換しながら速やかな退院支援に結び付けています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期については早い段階から利用者や家族と話し合い日々安心してケアを提供できる様に努めています。事業所の出来る事や出来ない事を見極め家族に説明し医師の意見を聞きチーム支えています。職員に負担にならない様に家族協力も得てチームケアで支えています。</p>	<p>重度化した場合の家族や本人の思いや意向を話し合い、事業所で出来ることの説明をし段階的に同意書を交わしている。事業所は数多くの看取りの経験もあり、病院からホームに戻り終末期を迎える利用者もいる。医師や管理者、職員での連携と職員の負担にならない方針の共有で支えている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>同系列の病院の勉強会へ参加したり、島内の研修会また独自の勉強会で定期的に勉強会を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災や地震の際の避難訓練を地域の方も参加して、昼夜を想定して年2回行っています。漏電や消火器の点検又プラグ周辺やホームの外周りの掃除を定期的に行っています。災害時の食料や水を備蓄しています。</p>	<p>災害時の避難訓練は地域住民の協力のもと年2回行い、自主訓練も室外の清掃に努め、定期的な器材の点検を行うなど、災害に対する意識が高い。災害に備えた物品も準備され車椅子は常に定置であることを確認している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の尊厳やプライバシー保持についての研修会に参加したり独自の勉強会も行っています。声掛けや言葉使いに注意し対応しています。	利用者の誇りやプライバシーを大切に接遇の勉強会を行い、部屋に入る時は必ずノックをし、排泄時の目立たずさりげない誘導を心がけている。馴れ合いのなかで、利用者の人格を無視した対応になっていないか職員は振り返りを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望に沿い起床や就寝・食事や入浴は個別支援をしています。意思表示の困難の方は表情から読み取ったり文字盤を使ったり筆談したり自己決定出来る様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとり一人が、その日をどの様に過ごしたいのか希望に添える様に努めています。散歩や買い物など利用者優先に個別支援に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の希望の服が着られる様に更衣の際や入浴時の準備の時は職員と利用者で準備をします。髪型も本人の望むカットして貰っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が好む調理を心掛けて作っています。地域の方から届いた野菜やホームの小さな菜園で収穫野菜の下ごしらえを職員と一緒にしています。茶碗拭きも日課となっています。	管理栄養士のメニューを参考に利用者の好みに合せた献立であり栄養のバランスも取れている。朝夕の食事時間も本人の希望にあわせ、可能な利用者は食事の準備や下ごしらえも手伝っている。きざみ食も原型を見せるなど、食事を楽しめる支援を心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量・水分摂取量は、ひとり一人の体調に応じ対応しています。記録し摂取量が確保出来る様に努めています。飲む量と排出する量のバランスにも気を付けて対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食前の嗽や毎食後歯磨きは声掛けを行い本人の力に応じて見守りや介助を行っています。口腔内ケアの重要性を利用者と職員が理解し習慣化されています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ排泄パターンを把握し個々の利用者に合わせ誘導し支援しています。利用者の表情やタイミングを見ながらトイレ誘導を行っています。清潔保持に努めています。	昼夜問わずトイレ誘導でありポータブルトイレ使用者は殆どいない。洩らした時の不快感でオムツからリハビリパンツに移行した利用者もおり、職員は個々の排泄パターンを把握し、チェック表も不要なくらいである。清潔保持に努め気持ちよく排泄できるための工夫がみられる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	植物繊維の多い食材を使う様に心掛け、毎日の牛乳や軽運動を日課とし水分も多めに飲んで貰える様に工夫し自然排便が出来る様に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めてありますが、利用者その日の体調や表情や気分を聞きながら支援しています。嫌がる方は時間を置き再度声掛けしたり日を変えたり柔軟に対応しています。	利用者の生活習慣やその日の気分、体調に合わせた入浴支援であり、脱衣所のシャンプーリンスも誤飲などの事故に繋がらないように目隠しされている。柔軟な対応を心がけ、リラックスして入浴を楽しめるように配慮している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動を促し生活のリズムを整え、寝付けない時は職員と行動を共にし、温かい飲み物を飲みながら傾聴に努め不安を取り除くように支援をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用、用法や用量についてはファイルに綴り何時でも確認できる様になっています。服薬の服用後は症状の変化にも注意し、変化の際は管理者へ報告する様にしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとり一人の力を発揮して貰える様に見極めた上で役割が負担にならない様に活性化に繋げています。ドライブや散歩に出掛け食べたい物が食べれるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は日常的に散歩に出掛け地域の方との繋がりを感じて貰っています。年に2回は地域のボランティアの協力を貰い全員揃って散歩に出掛けています。家族や岬と一緒に暮らした方のお墓参りや遠出の買い物に出かけ個別支援もしています。	日常的な近隣の散歩の他、年2回は地域ボランティアの協力をもらい、寝たきりや車椅子の利用者を含め、全員で公園での紙芝居や花見などを楽しみ、五感からの刺激を得てもらっている。管理者は小学校の給食体験をすることで子ども達がホームを訪れたり、墓参り、買物などの個別支援にも力を入れ戸外に出かけられる支援となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ひとり一人の力に応じて、本人が管理できる少金額を家族から貰い日常的に好きな物を自分の財布と相談しながら買える様に支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ペンや便せんを準備してあります。時折、電話で声の便りを届ける様に支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が長時間過ごす共同空間を心地よく過ごせる様にソファを置いたり、壁には季節を感じて貰える様に利用者と職員で壁画を作り飾っています。玄関の近くには畳間があり静かに過ごしたい時や利用者と家族が語らいの場として又読書の場として使っています。</p>	<p>広く明るいリビングは畳の間もあり、家族や利用者が思い思いにくつろげるソファや椅子、テーブルがある。壁には利用者の手作りの作品や写真が飾られ、利用者の見守りに役立つ鏡は怪我や転倒防止に役立たせ、観葉植物を置くことで共用空間のバランスが保たれている。居ごち良く過ごせるような工夫が見られる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共同空間の中にも一人で過ごせる場所を設け又仲の良い利用者同士が集える様にソファを設けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンスや本人が以前使っていた品々又仏壇等を受け入れ持ってきて貰っています。利用者に安心と居心地の良く過ごせる様に努めています。	部屋の入口は暖簾でプライバシーが守られ、使い慣れた家具や小物などが持ち込まれている。利用者が安心して過ごせる環境となるように、加湿対策として濡れタオルも置かれ、居心地良くするための工夫が見られる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ひとり一人の持っている力を見極め、職員間で話し合い自立に繋げる様に考え対応しています。目印しで居室が解る工夫や手すりを使い自立できるように工夫しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない